

読んだ本（今森光彦／文・写真） アリス館

## 「ダンゴムシ」

川崎市立宮崎小学校一年 かつや 勝谷 ひなこ 日向子

わたしは、ダンゴムシが大すきでペットボトルでかったことがあります。でもまだしらないことがあるとおもってこの本をえらびました。一ばんびつくりしたことは、赤ちゃんのうまれ方です。さいしょ、赤ちゃんはたまごでうまれるとおもっていました。ですが、おかあさんのおなかのまくをやぶってでてくることをしました。からだのいろは、しろのはんとうめい。しんじやうときもしろくなるのがふしぎだなとおもいました。

ダンゴムシのあしはこんちゆうとおなじ六本だとおもっていました。がほんとうは十四本でした。さらに、エビやカニのなかまだということもありませんでした。ダンゴムシをかつてるとき、だっぴのしゅんかんをみました。だけどだっぴがめちやくちやながそうでさいごまでみれません。ダンゴムシのほんをよんだらだっぴのしゅんかんをちかくで見るとこんなかんじなんだ！とおもいました。まえダンゴムシをかつていたときはしかくいうんちをたくさんするからおそうじがたいへんでにがした。またダンゴムシをかいたくない。でもまたうんちをたくさんするかもしれない。でもそのときはうんちをてで、とればながくかえるかな？とおもいます。